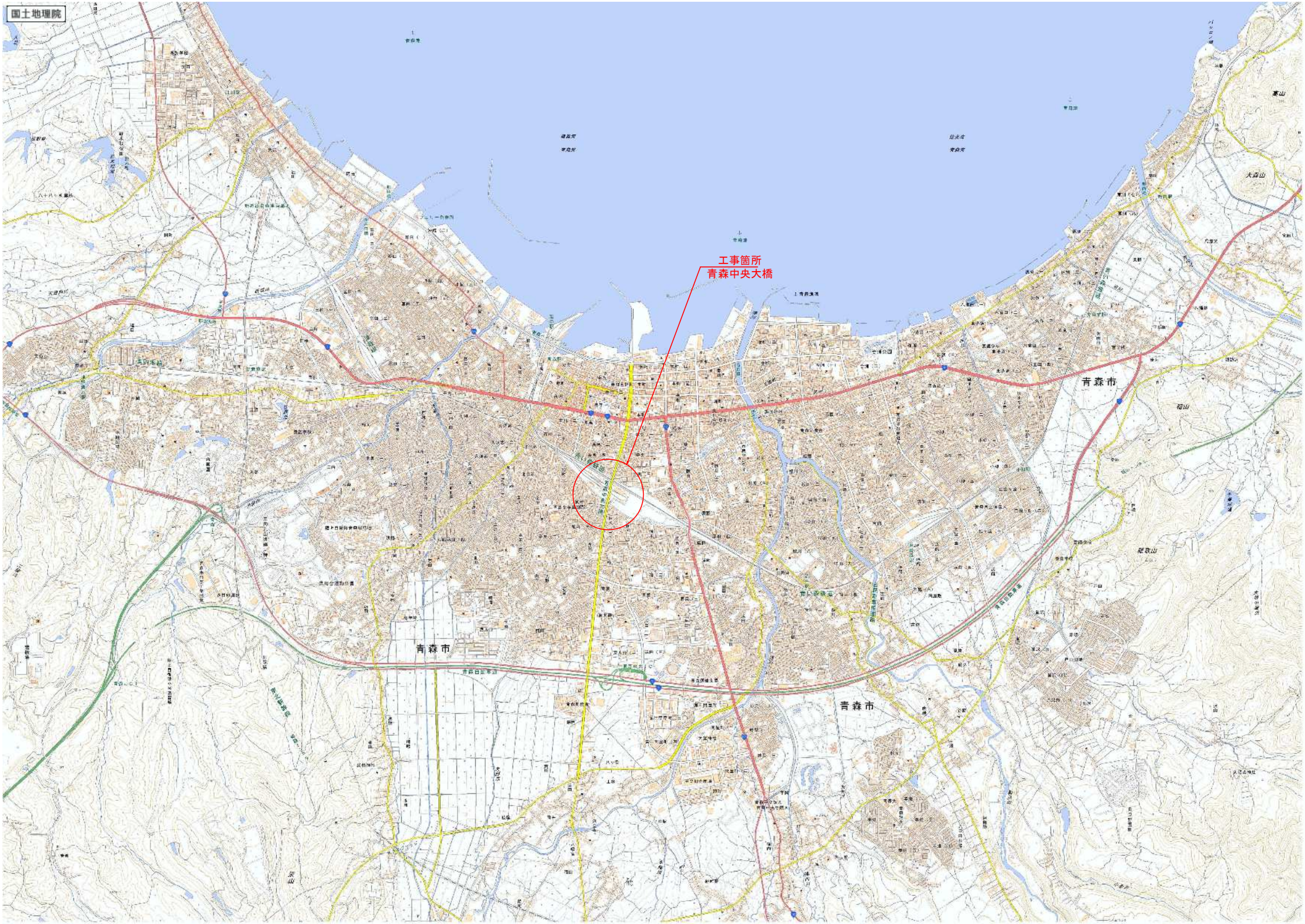


令和 8 年度 橋梁補修 工事	
工事番号	繰り 第 482-3 号
路線名	荒川青森停車場線
施工所	青森県青森市旭町二丁目 地内
位置図	縮尺 1:25,000
図面番号	11 葉中 1
青森県東青森土整備事務所	
青 森 県	

位置図



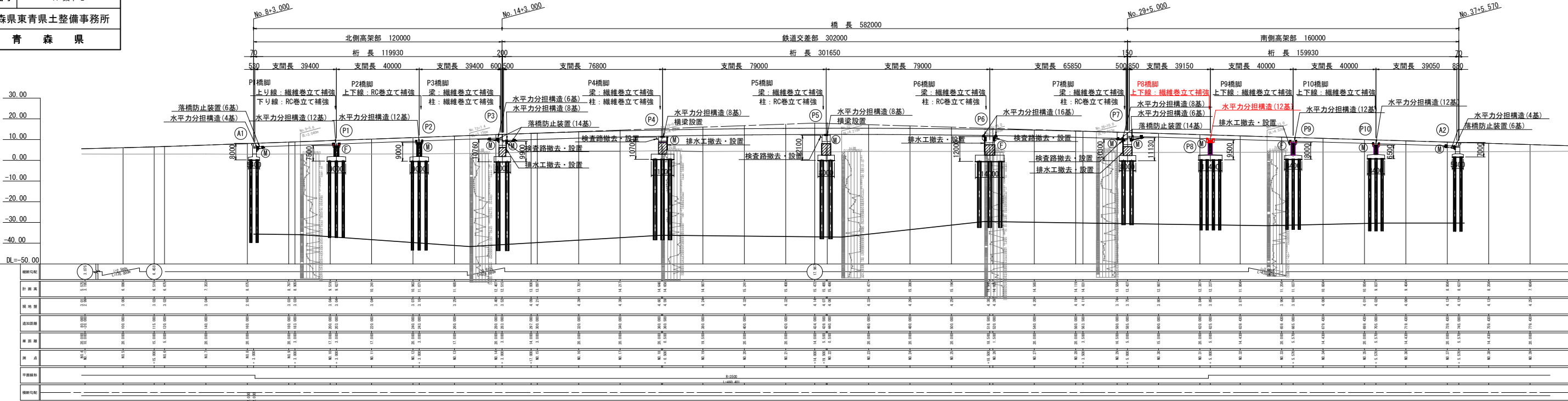


青森中央大橋 補強一般図 (その1)

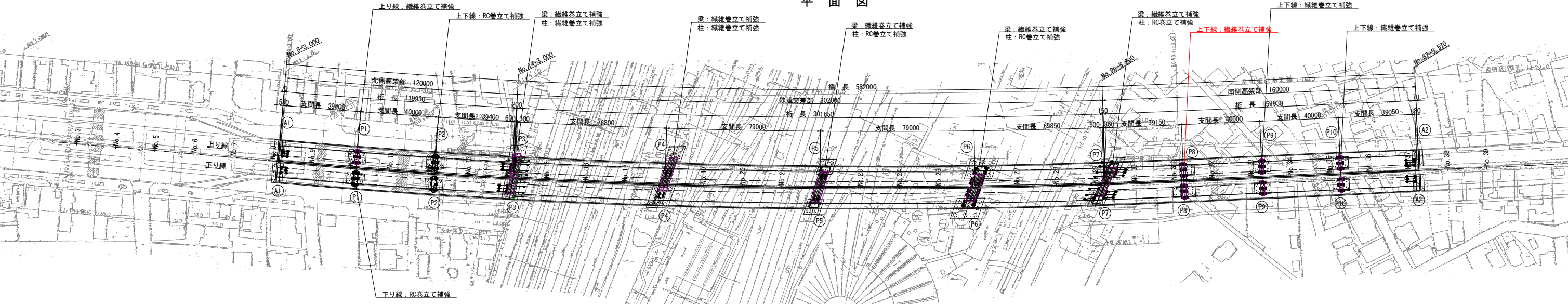
令和 8 年度 橋梁補修 工事	
工事番号	緑マテ 第 482-3 号
路線名	荒川青森停車場線
施工箇所	青森県青森市旭町二丁目 地内
青森中央大橋 補強一般図 (その1)	縮尺 1:1000
図面番号	11 葉中 2
青森県東青森土整備事務所	
青 森 県	

工種	工法・内容	対象箇所
橋脚耐震補強	RC巻立て補強	P1 (下り線), P2 (上下線), P5, P6, P7
	繊維巻立て補強	P1 (上り線), P3, P4, P8~P10 (上下線)
落橋防止システム	落橋防止装置	A1, P3, P7, A2
	水平力分担構造	A1, P1~P10, A2
下部工検査路	撤去・設置	P3~P7
排水管	撤去・設置	P3, P4, P6, P7, P9

側 面 図



平 面 図



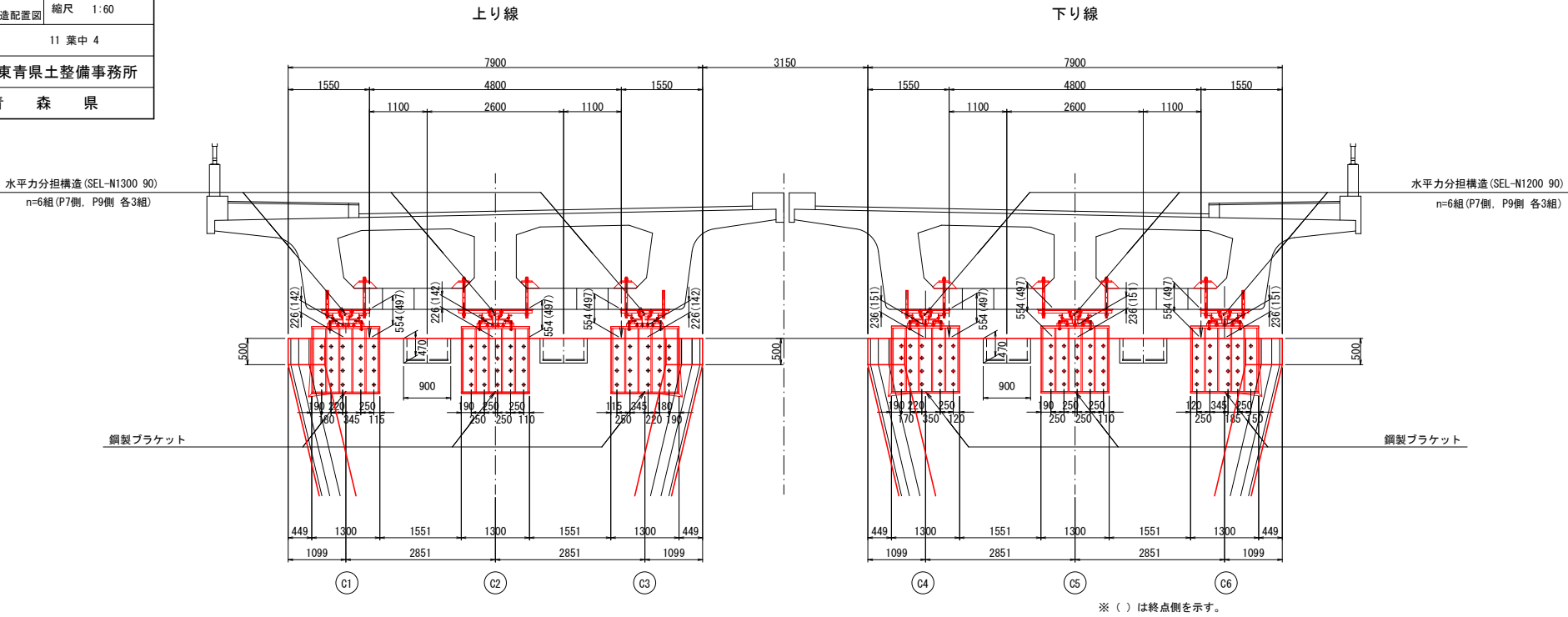


令和 8 年度 橋梁補修 工事	
工事番号	繰り 第 482-3 号
路線名	荒川青森停車場線
施工箇所	青森県青森市旭町二丁目 地内
P8橋脚 水平力分担構造配置図	縮尺 1:60
図面番号	11 葉中 4
青森県東青森土整備事務所	
青 森 県	

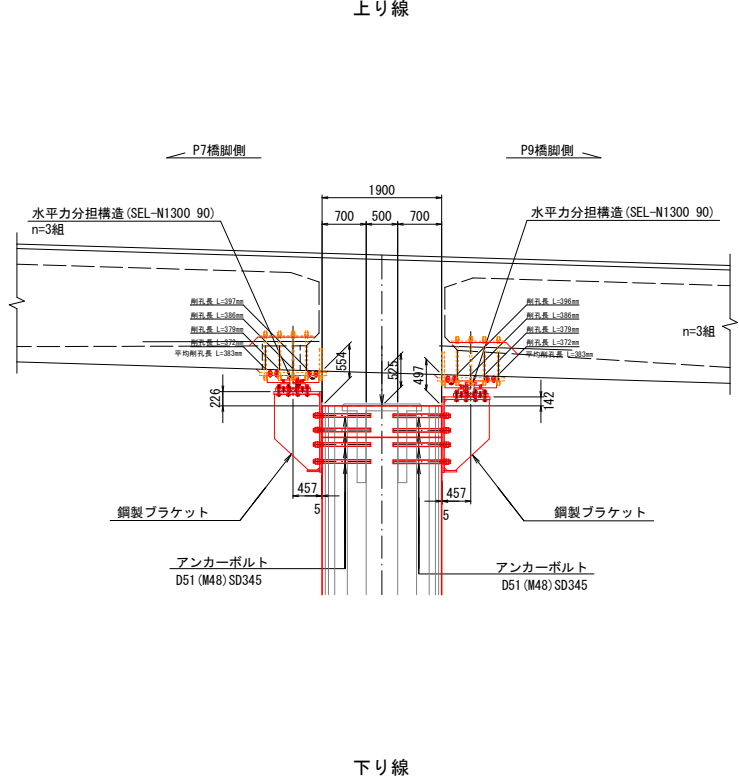
P8橋脚水平力分担構造配置図

S=1:60

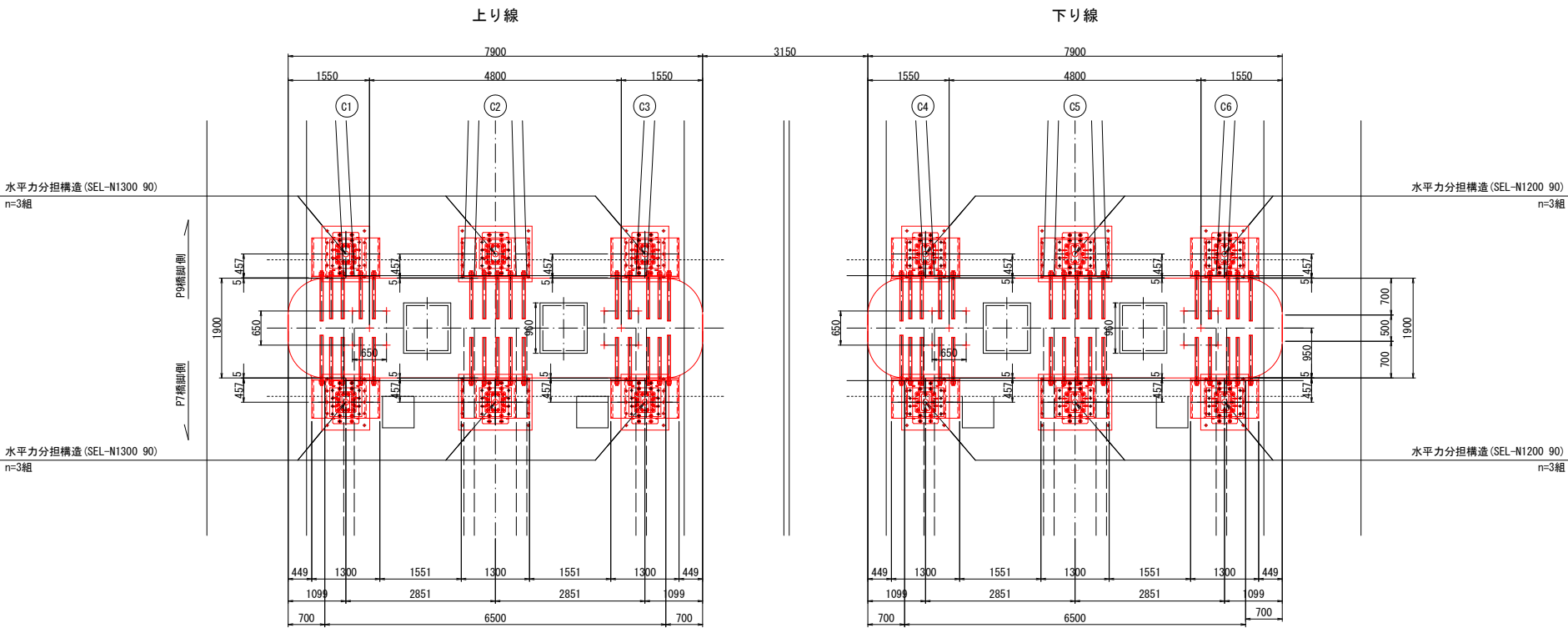
正面図



側面図



平面図



令和 8 年度 橋梁補修 工事	
工事番号	繰マテ 第 482-3 号
路線名	荒川青森停車場線
施工箇所	青森県青森市旭町二丁目 地内
P8橋脚 水平力分担構造詳細図(その1)	縮尺 図示
図面番号	11 葉中 5
青森県東青森土整備事務所	
青 森 県	

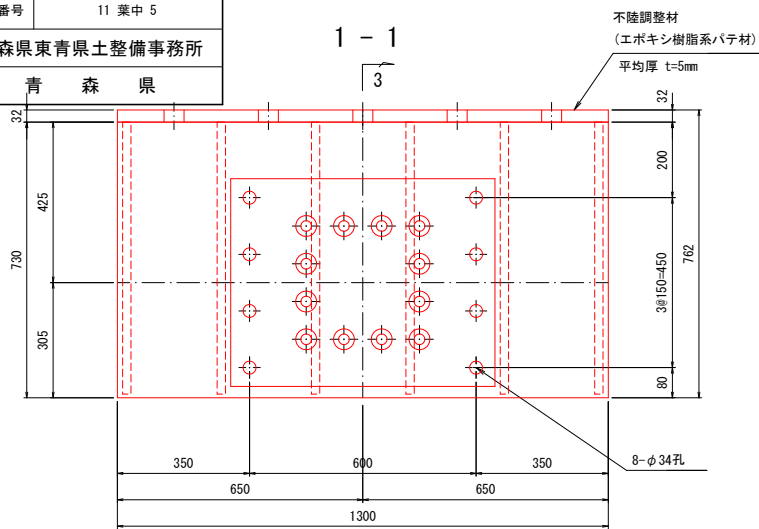
## 青森中央大橋 水平力分担構造詳細図(その1) S=1:10

### P8橋脚(上り線) ブラケット詳細図

### 設計条件

設計水平力	1300kN/基
移動量(橋軸方向)	90mm
移動量(橋軸直角方向)	0mm

### 下部エブラケット詳細図



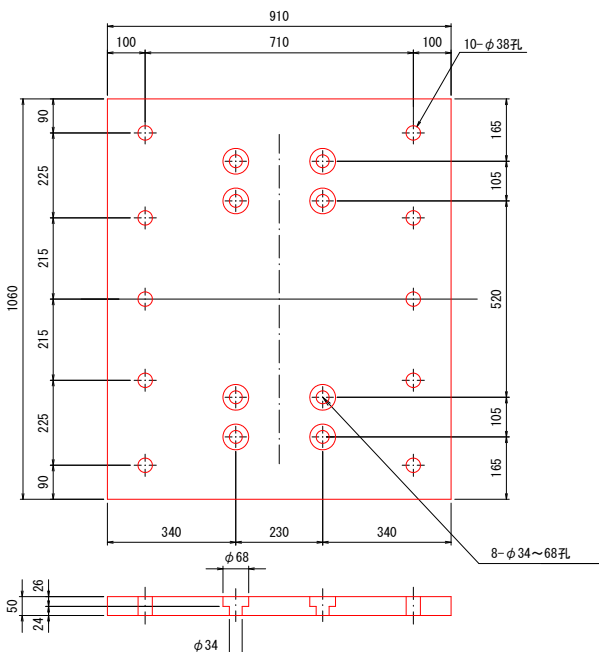
#### ブラケット1基当り (製作数:6基)

1-BASE PL 1280<1200>x32x1300  
1-FLG PL 730x40x1300 (SM400B)  
1-FLG PL 200x22x1300  
6-RIB PL 1208<1128>x22x 720

※ < >は終点側を示す。

	起点側			終点側		
	C1	C2	C3	C1	C2	C3
L1	190	190	115	115	110	190
L2	180	250	250	250	250	180
L3	220	250	345	345	250	220
L4	345	250	220	220	250	345
L5	250	250	180	180	250	250
L6	115	110	190	190	190	115

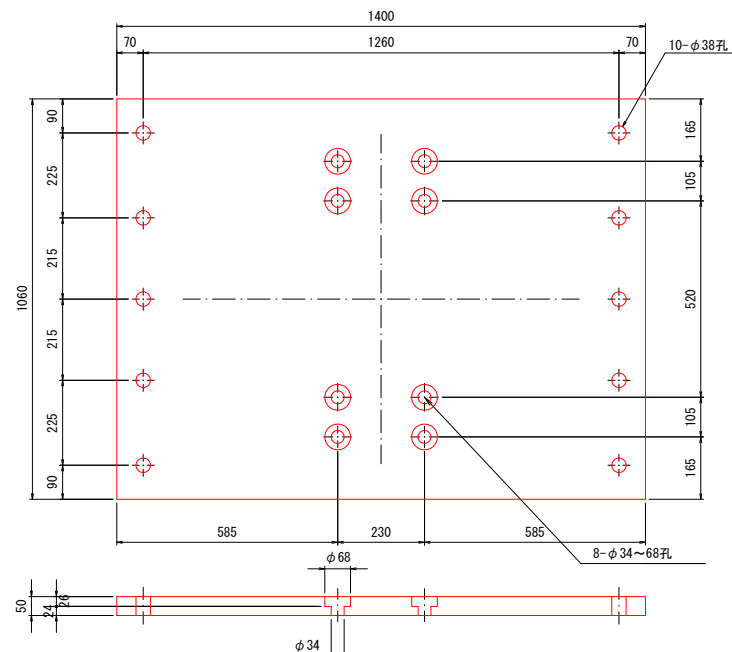
### 上部工取付プレート(両端部)



#### ブラケット1基当り (製作数:4基)

1-PL 1060x50x910 (SM490C)  
8-六角Bolt M30x65 (強度区分8.8)  
8-Washer M30用 (SS400)

### 上部工取付プレート(中央部)

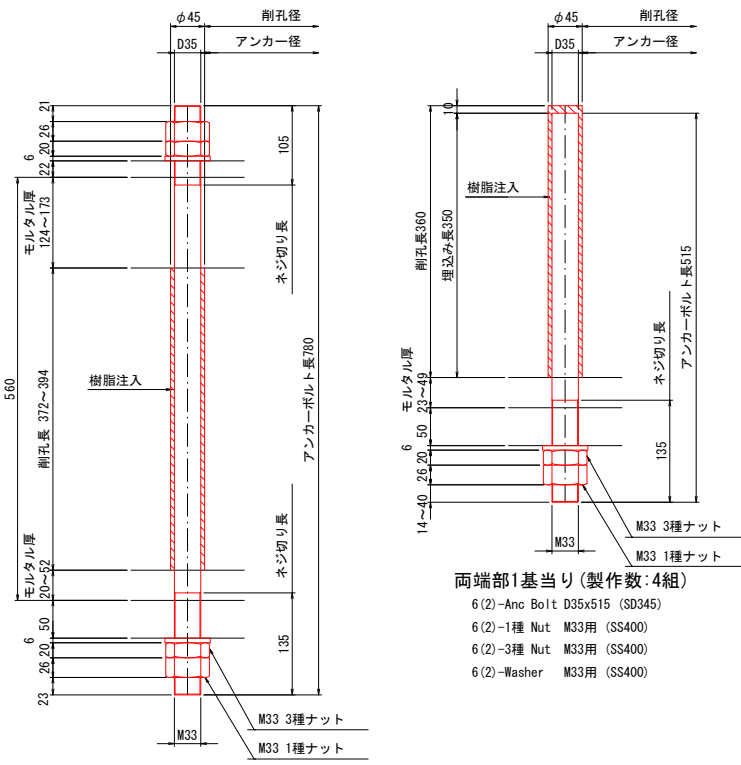


#### ブラケット1基当り (製作数:2基)

1-PL 1060x50x1400 (SM490C)  
8-六角Bolt M30x65 (強度区分8.8)  
8-Washer M30用 (SS400)

### 上部工側アンカーボルト詳細図

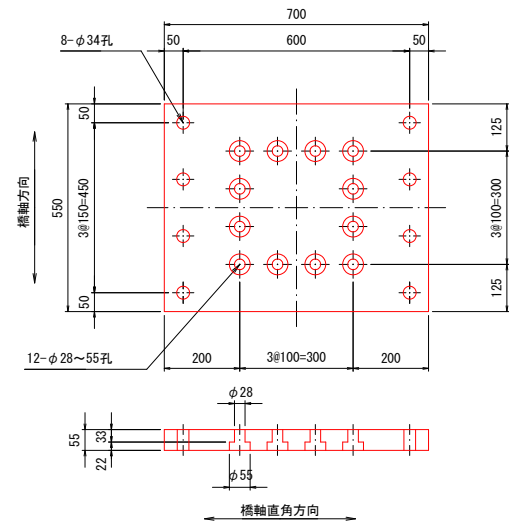
S=1:5



#### 両端部1基当り (製作数:4組)

6 (2)-Anc Bolt D35x515 (SD345)  
6 (2)-1種 Nut M33用 (SS400)  
6 (2)-3種 Nut M33用 (SS400)  
6 (2)-Washer M33用 (SS400)

### 下部工取付プレート



#### ブラケット1基当り (製作数:6基)

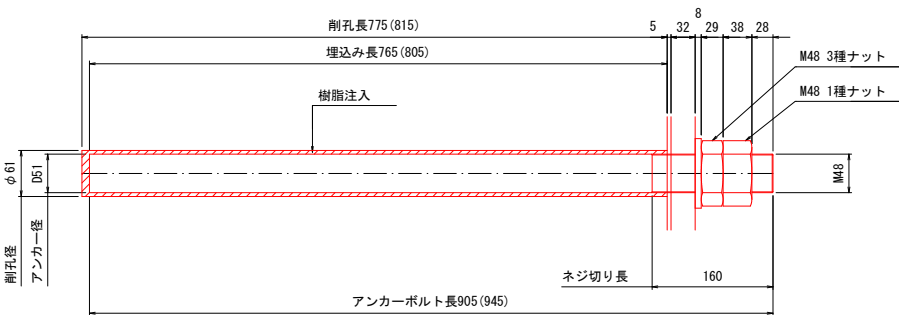
1-PL 550x55x700 (SM490C)  
8-六角Bolt M30x140 (強度区分8.8)  
8-U Nut M30用 (強度区分8.8)  
16-Washer M30用 (SS400)  
12-六角Bolt M24x65 (強度区分8.8)  
12-Washer M24用 (SS400)

#### 注記

- 特記なき材質は全てSM400Aとする。
- 特記なきスカーラップは35Rとする。
- 工場製作は現場計測の上、最終決定のこと。
- 部材は、全て溶融亜鉛メッキ仕上げとする。  
付着量は、JIS H8641 HDZ55とする。  
ただし、ボルト・ナット類はHDZ35とする。
- アンカーボルトは、ネジ部のみ溶融亜鉛メッキとする。
- 既設コンクリートへの削孔の際には、鉄筋探査を実施し既設鉄筋は、切断しないこと。  
また、既設鉄筋と干渉した場合は、アンカーボルト位置の調整を行うこと。  
アンカーボルトの埋込み長が短くなる場合には、長さを確保するよう調整すること。  
さらに、寄アンカーも同様とする。
- FPの表記のある箇所は、完全溶け込み溶接を用いる。

### 下部工側アンカーボルト詳細図

S=1:5



#### C2ブラケット1基当り (製作数:2組)

20-AncBolt D51x905 (SD345)  
20-1種Nut M48用 (SS400)  
20-3種Nut M48用 (SS400)  
20-Washer M48用 (SS400)

#### C1, C3ブラケット1基当り (製作数:4組)

16-AncBolt D51x905 (SD345)  
4-AncBolt D51x945 (SD345)  
20-1種Nut M48用 (SS400)  
20-3種Nut M48用 (SS400)  
20-Washer M48用 (SS400)

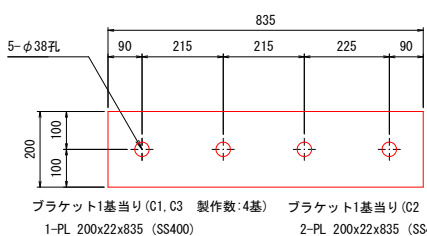
#### 中央部1基当り (製作数:2組)

8-Anc Bolt D35x780 (SD345)  
16-1種 Nut M33用 (SS400)  
16-3種 Nut M33用 (SS400)  
16-Washer M33用 (SS400)

#### 両端部1基当り (製作数:4組)

4-Anc Bolt D35x780 (SD345)  
8-1種 Nut M33用 (SS400)  
8-3種 Nut M33用 (SS400)  
8-Washer M33用 (SS400)

### 支圧プレート詳細図



ブラケット1基当り (C1, C3 製作数:4基)    ブラケット1基当り (C2 製作数:2基)  
1-PL 200x22x835 (SS400)    2-PL 200x22x835 (SS400)

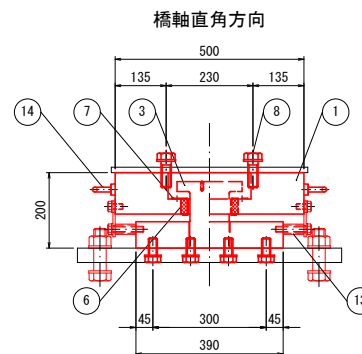
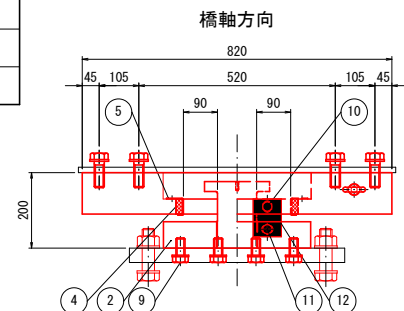


令和 8 年度		橋梁補修 工事	
工事番号	緑川 第 482-3 号		
路線名	荒川青森停車場線		
施工箇所	青森県青森市旭町二丁目 地内		
P8橋脚 水平力分担 構造詳細図(その2)	縮尺 図示		
図面番号	11 葉中 6		
青森県東青森土整備事務所			
青 森 県			

## 青森中央大橋 水平力分担構造詳細図(その2) S=1:10

P8橋脚(上り線) SEリミッター(SEL-N1300 90)構造詳細図

取付詳細図

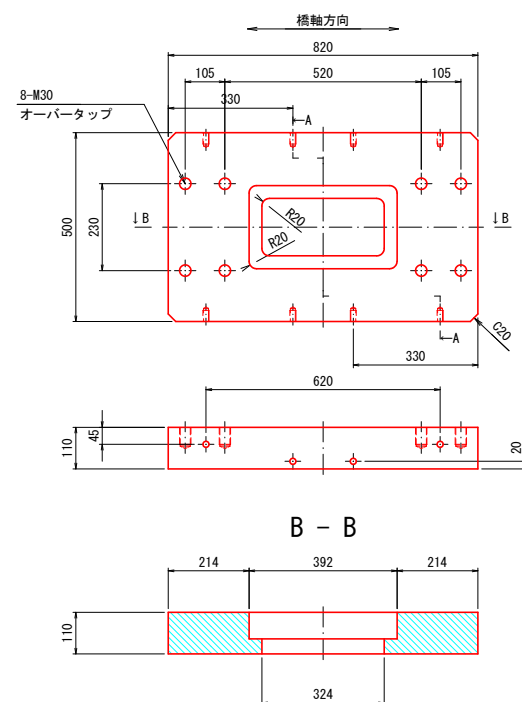


材 料 表 (SEリミッター1基当たり)

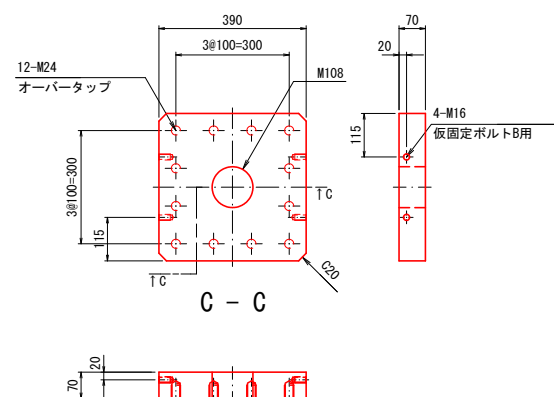
全6基

部 番	名 称	規 格	単位	数量	摘 要
1	ソールプレート	SEL-N1300-90	個	1	SM490A:亜鉛アルミ溶射処理
2	リミットピンプレート	SEL-N1300用	個	1	SM490A:亜鉛アルミ溶射処理
3	リミットピン	SEL-N1300用	本	1	SCM435:ダクロタイズ処理、DMコート
4	バッファァーA	SEL-N1300用	個	2	クロロブレンゴム
5	バッファァーガイドA	SEL-N1300用	個	2	SUS
6	バッファァーB	SEL-N1300用	個	2	クロロブレンゴム
7	バッファァーガイドB	SEL-N1300用	個	2	SUS
8	セットボルト(上側)	M30x65 1W付	組	8	強度区分8.8:亜鉛めっき(HDZ35)
9	セットボルト(下側)	M24x65 1W付	組	12	強度区分8.8:亜鉛めっき(HDZ35)
納入時用部材					
10	仮固定ボルトA	M16x30 1W付	組	4	SS400相当品:電気めっき
11	仮固定ボルトB	M16x85 1W付	組	4	SS400相当品:電気めっき
12	仮固定プレート	SEL-N1300用	個	4	SS400:電気めっき
13	スプーサー	SEL-N1300用	個	4	SGP20A:溶融亜鉛めっき
14	アイボルト	M16	個	4	SS400相当品:亜鉛めっき(HDZ35)

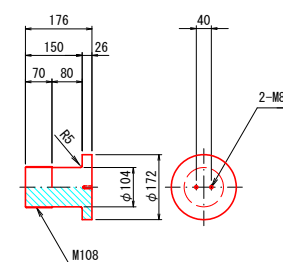
① ソールプレート  
(SM490A:亜鉛アルミ溶射処理)



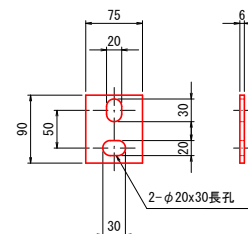
② リミットピンプレート  
(SM490A:亜鉛アルミ溶射処理)



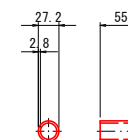
③ リミットピン  
(SCM435:DMコート)



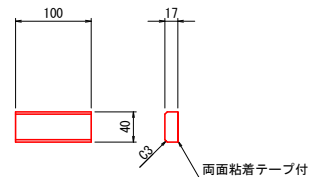
⑫ 仮固定プレート S=1:5  
(SS400:電気めっき)



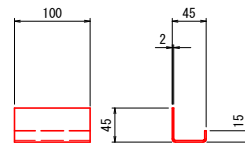
⑬ スペーサー S=1:5  
(SGP20A:溶融亜鉛めっき)



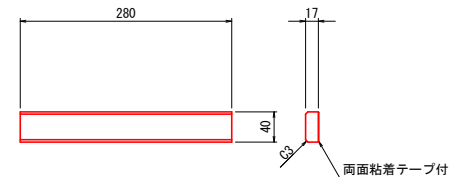
④ バッファ-A S=1:5  
(クロロプレノム)



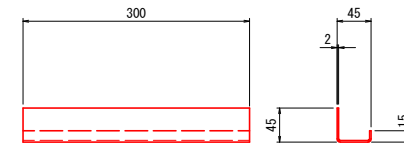
⑤ バッファガイドA S=1:5  
(SUS)



⑥ バッファ－B S=1:5  
(クロロプレンゴム)



⑦ バッファガイドB S=1:5  
(SUS)



注記)

1. SEリミッターの納入時組立高さは、取付詳細図に示す製品高-10mm程度とする。
2. 据付時は仮固定ボルト他、納入時用部材を取り外し、所定の高さで設置すること。
3. 納入時用部材を取り外した後のタップ孔は樹脂ボルトもしくはパテ材で埋めること。

令和 8 年度 橋梁補修 工事	
工事番号	繰ナン 第 482-3 号
路線名	荒川青森停車場線
施工箇所	青森県青森市旭町二丁目 地内
P8橋脚 水平力分担構造詳細図(その3)	縮尺 図示
図面番号	11 葉中 7
青森県東青森土整備事務所	
青 森 県	

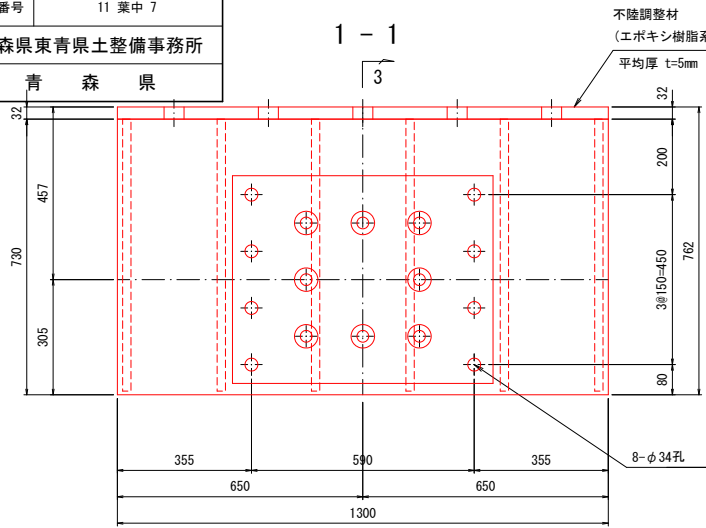
## 青森中央大橋 水平力分担構造詳細図(その3) S=1:10

### P8橋脚(下り線) ブラケット詳細図

### 設計条件

設計水平力	1200kN/基
移動量(橋軸方向)	90mm
移動量(橋軸直角方向)	0mm

### 下部エブラケット詳細図



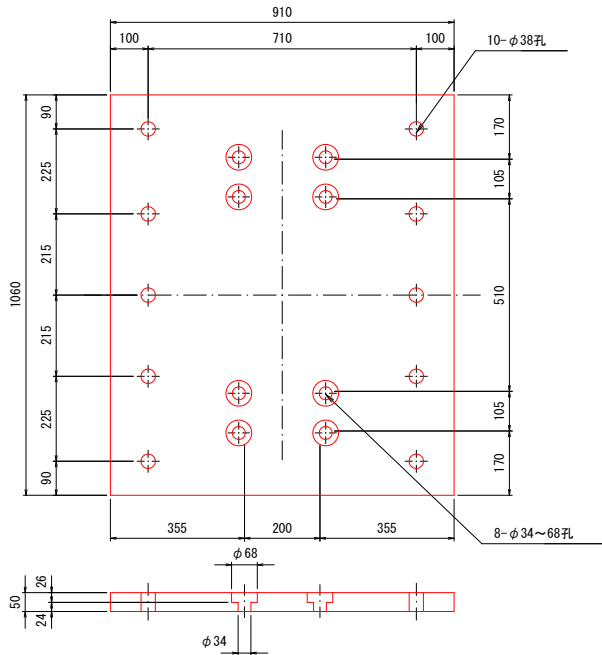
#### ブラケット1基当り (製作数:6基)

1-BASE PL 1280<1190>x32x1300  
1-FLG PL 730x40x1300  
1-FLG PL 200x22x1300  
6-RIB PL 1208<1118>x22x 720

※ < >は終点側を示す。

	起点側			終点側		
	C4	C5	C6	C4	C5	C6
L1	190	190	120	120	110	150
L2	170	250	250	250	250	250
L3	220	250	345	350	250	185
L4	350	250	185	220	250	345
L5	250	250	250	170	250	250
L6	120	110	150	190	190	120

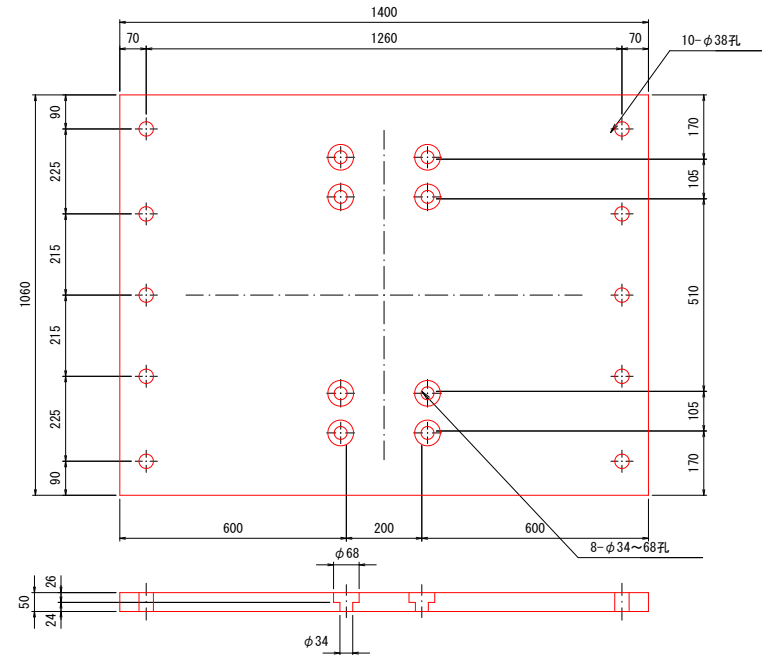
### 上部工取付プレート(両端部)



#### ブラケット1基当り (製作数:4基)

1-PL 1060x50x910 (SM490)  
8-六角Bolt M30x65 (強度区分8.8)  
8-Washer M30用 (SS400)

### 上部工取付プレート(中央部)

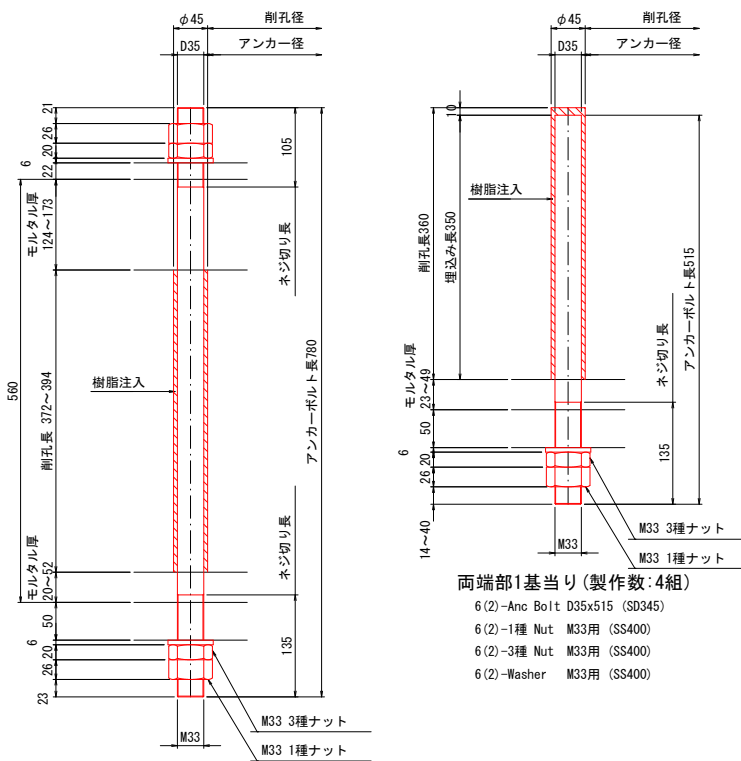


#### ブラケット1基当り (製作数:2基)

1-PL 1060x50x1400 (SM490)  
8-六角Bolt M30x65 (強度区分8.8)  
8-Washer M30用 (SS400)

### 上部工側アンカーボルト詳細図

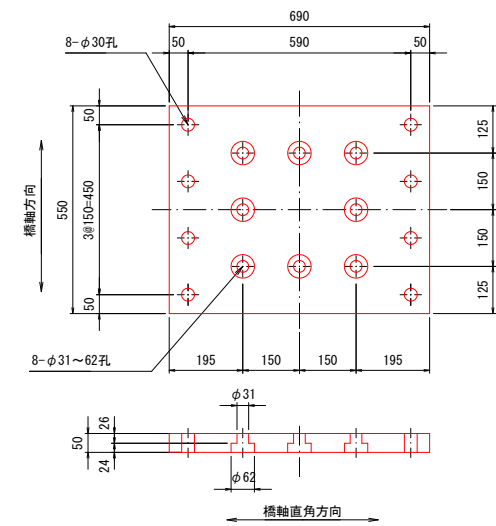
S=1:5



#### 両端部1基当り (製作数:4組)

6(2)-Anc Bolt D35x515 (SD345)  
6(2)-1種 Nut M33用 (SS400)  
6(2)-3種 Nut M33用 (SS400)  
6(2)-Washer M33用 (SS400)

### 下部工取付プレート



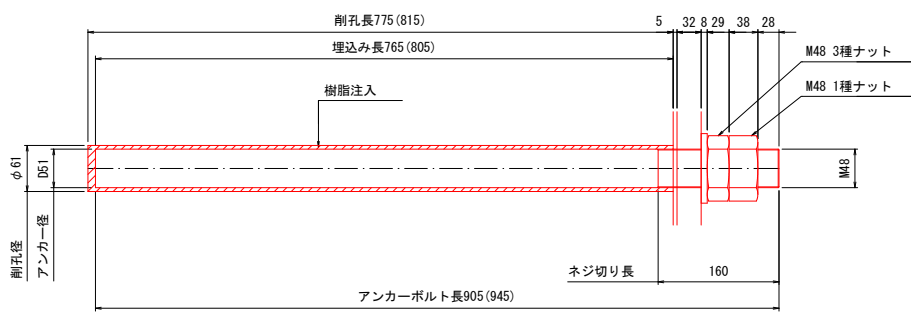
#### ブラケット1基当り (製作数:6基)

1-PL 550x50x690 (SM490)  
8-六角Bolt M27x130 (強度区分8.8)  
8-U Nut M27用 (強度区分8.8)  
16-Washer M27用 (SS400)  
8-六角Bolt M27x60 (強度区分8.8)  
8-Washer M27用 (SS400)

- 注記
- 特記なき材質は全てSM400Aとする。
  - 特記なきスカーラップは35Rとする。
  - 工場製作は現場計測の上、最終決定のこと。
  - 部材は、全て溶融亜鉛メッキ仕上とする。  
付着量は、JIS H8641 HDZ55とする。  
ただし、ボルト・ナット類はHDZ35とする。
  - アンカーボルトは、ネジ部のみ溶融亜鉛メッキとする。
  - 既設コンクリートへの削孔の際には、鉄筋探査を実施し既設鉄筋は、切断しないこと。  
また、既設鉄筋と干渉した場合は、アンカーボルト位置の調整を行うこと。  
アンカーボルトの埋込み長が短くなる場合には、長さを確保するよう調整すること。
  - さらに、沓アンカーも同様とする。
  - FPの表記のある箇所は、完全溶け込み溶接を用いる。

### 下部工側アンカーボルト詳細図

S=1:5



#### C5ブラケット1基当り (製作数:2組)

20-AncBolt D51x905 (SD345)  
20-1種Nut M48用 (SS400)  
20-3種Nut M48用 (SS400)  
20-Washer M48用 (SS400)

#### C4, C6ブラケット1基当り (製作数:4組)

16-AncBolt D51x905 (SD345)  
4-AncBolt D51x945 (SD345)  
20-1種Nut M48用 (SS400)  
20-3種Nut M48用 (SS400)  
20-Washer M48用 (SS400)

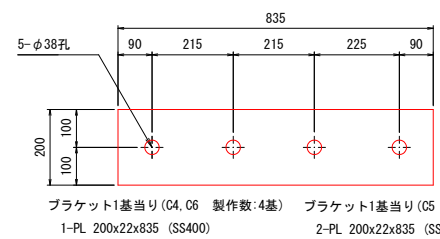
#### 中央部1基当り (製作数:2組)

8-Anc Bolt D35x780 (SD345)  
16-1種 Nut M33用 (SS400)  
16-3種 Nut M33用 (SS400)  
16-Washer M33用 (SS400)

#### 両端部1基当り (製作数:4組)

4-Anc Bolt D35x780 (SD345)  
8-1種 Nut M33用 (SS400)  
8-3種 Nut M33用 (SS400)  
8-Washer M33用 (SS400)

### 支圧プレート詳細図



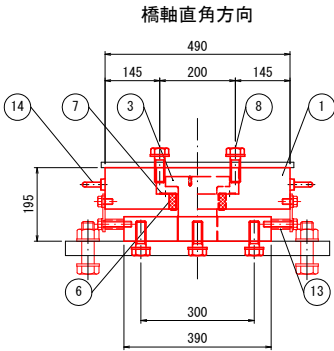
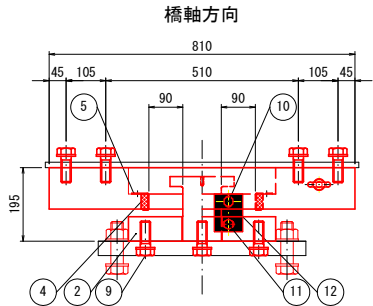
ブラケット1基当り (C4, C6 製作数:4基)    ブラケット1基当り (C5 製作数:2基)  
1-PL 200x22x835 (SS400)    2-PL 200x22x835 (SS400)

令和 8 年度 橋梁補修 工事	
工事番号	繰マテ 第 482-3 号
路線名	荒川青森停車場線
施工箇所	青森県青森市旭町二丁目 地内
P8橋脚 水平力分担構造詳細図(その4)	縮尺 図示
図面番号	11 葉中 8
青森県東青森土整備事務所	
青 森 県	

青森中央大橋 水平力分担構造詳細図(その4) S=1:10

P8橋脚(下り線) SEリミッター(SEL-N1200 90)構造詳細図

取付詳細図



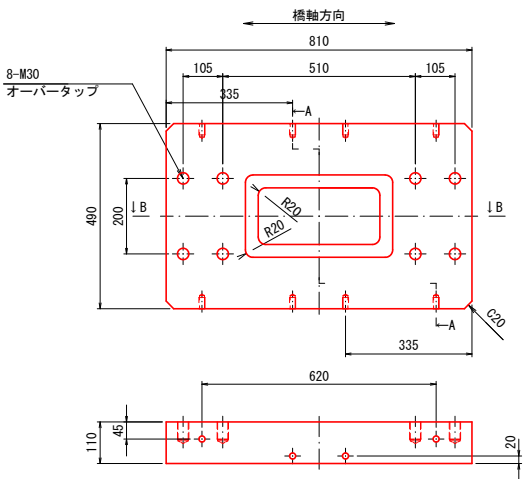
材 料 表

(SEリミッター1基当たり)

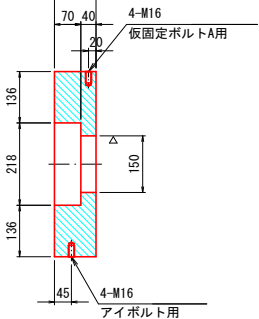
全6基

部番	名 称	規 格	単位	数量	摘 要
1	ソールプレート	SEL-N1200-90	個	1	SM490A:垂鉛アルミ溶射処理
2	リミットピンプレート	SEL-N1200用	個	1	SM490A:垂鉛アルミ溶射処理
3	リミットピン	SEL-N1200用	本	1	SCM435:ダクロタイズド処理, DMコート
4	バッファーA	SEL-N1200用	個	2	クロロブレンゴム
5	バッファーガイドA	SEL-N1200用	個	2	SUS
6	バッファーB	SEL-N1200用	個	2	クロロブレンゴム
7	バッファーガイドB	SEL-N1200用	個	2	SUS
8	セットボルト(上側)	M30x65 1W付	組	8	強度区分8.8:垂鉛めっき(HDZ35)
9	セットボルト(下側)	M27x60 1W付	組	8	強度区分8.8:垂鉛めっき(HDZ35)
納入時用部材					
10	仮固定ボルトA	M16x30 1W付	組	4	SS400相当品:電気めっき
11	仮固定ボルトB	M16x80 1W付	組	4	SS400相当品:電気めっき
12	仮固定プレート	SEL-N1200用	個	4	SS400:電気めっき
13	スペーサー	SEL-N1200用	個	4	SGP20A:溶融垂鉛めっき
14	アイボルト	M16	個	4	SS400相当品:垂鉛めっき(HDZ35)

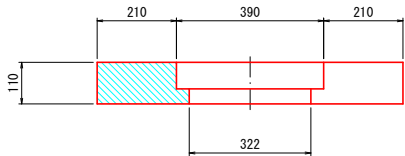
① ソールプレート  
(SM490A:垂鉛アルミ溶射処理)



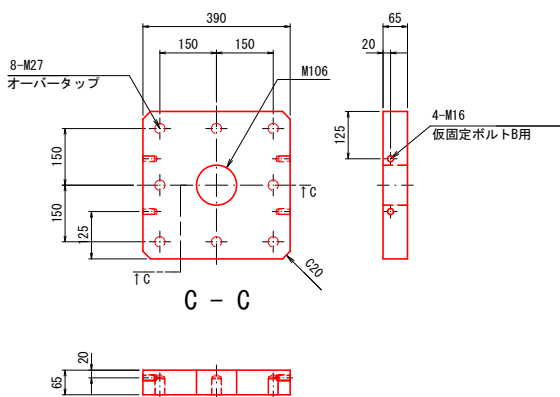
A - A



B - B



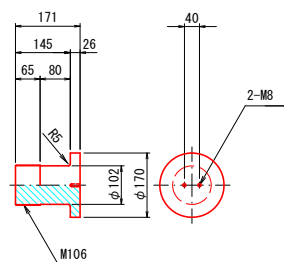
② リミットピンプレート  
(SM490A:垂鉛アルミ溶射処理)



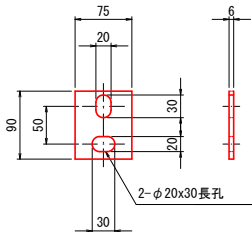
C - C



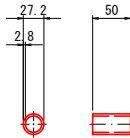
③ リミットピン  
(SCM435:DMコート)



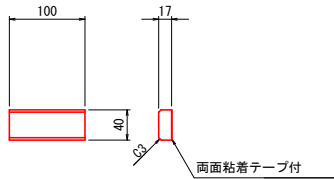
⑫ 仮固定プレート  
(SS400:電気めっき) S=1:5



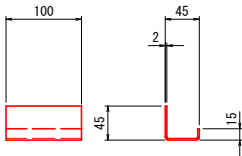
⑬ スペーサー  
(SGP20A:溶融垂鉛めっき) S=1:5



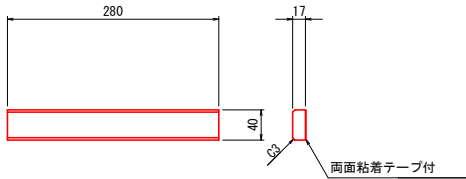
④ バッファーA  
(クロロブレンゴム) S=1:5



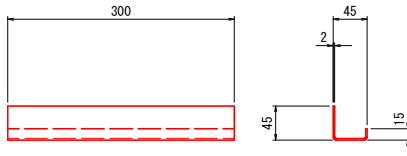
⑤ バッファーガイドA  
(SUS) S=1:5



⑥ バッファーB  
(クロロブレンゴム) S=1:5



⑦ バッファーガイドB  
(SUS) S=1:5



注記)

- SEリミッターの納入時組立高さは、取付詳細図に示す製品高-10mm程度とする。
- 据付時は仮固定ボルト他、納入時用部材を取り外し、所定の高さで設置すること。
- 納入時用部材を取り外した後のタップ孔は樹脂ボルトもしくはパテ材で埋めること。

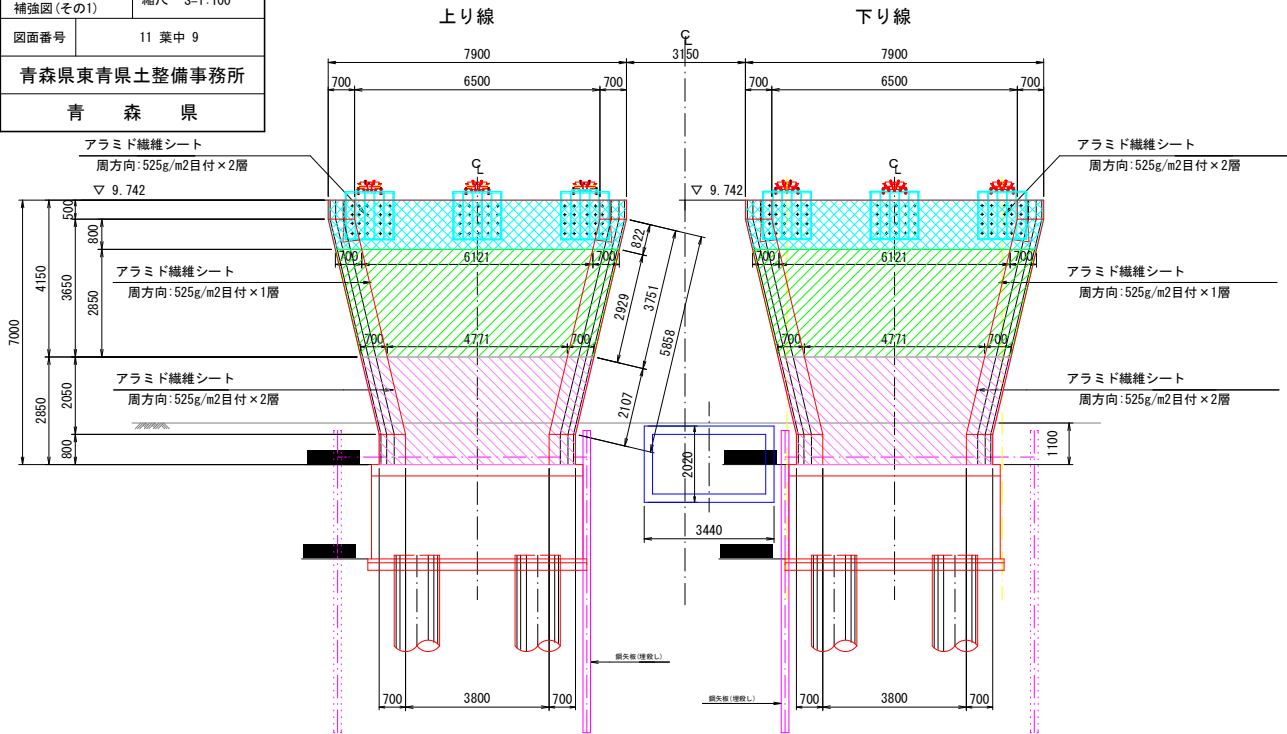


令和 8 年度 橋梁補修 工事	
工事番号	緑ノテ 第 482-3 号
路線名	荒川青森停車場線
施工箇所	青森県青森市旭町二丁目 地内
P8橋脚繊維シート補強図(その1)	縮尺 S=1:100
図面番号	11 葉中 9
青森県東青森土木整備事務所	
青 森 県	

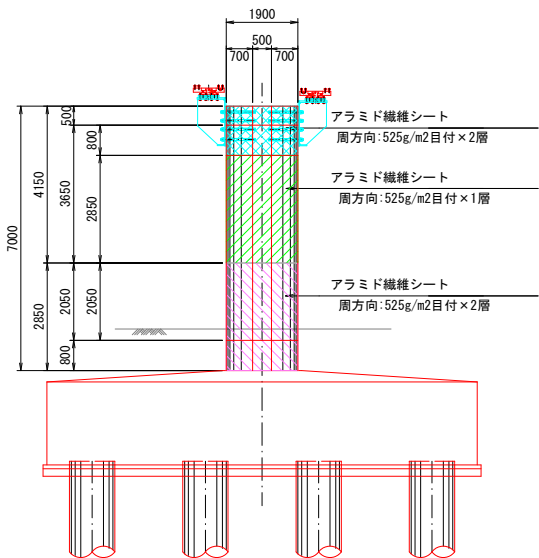
P8橋脚繊維シート補強図(その1)

S=1:100

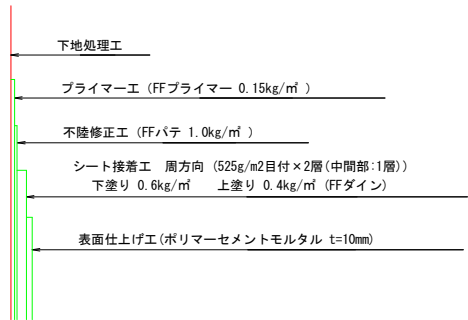
正面図



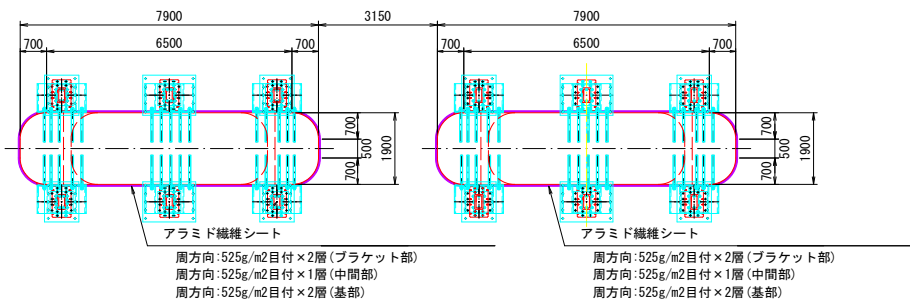
側面図



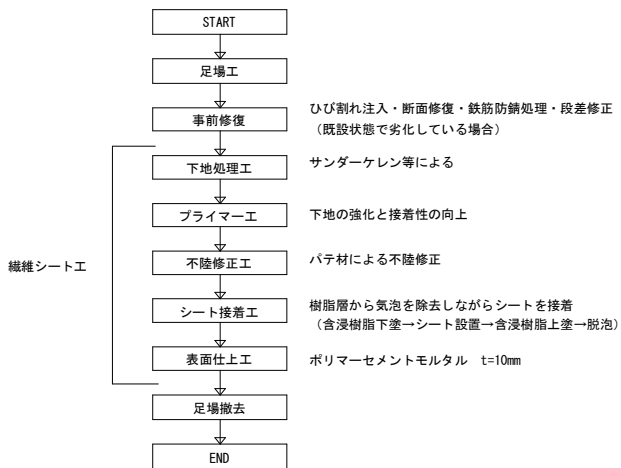
アラミド繊維シート断面図



平面図

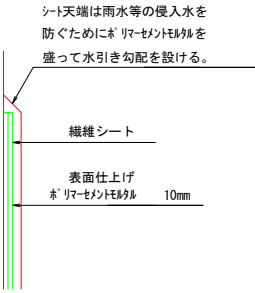
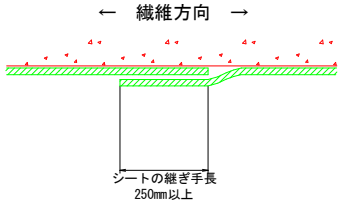


施工工程



天端処理

継ぎ手部



繊維シートの規格

規格	525g/m2目付
シートの厚さ (mm)	0.378
引張強度 (N/mm <sup>2</sup> )	2350
引張弾性率 (kN/mm <sup>2</sup> )	78

数量表

工程	仕様	単位	上り線	下り線	合計	備考
コンクリート表面処理工	サンダーケレン	m <sup>2</sup>	109.9	109.9	219.8	
	プライマー工	m <sup>2</sup>	109.9	109.9	219.8	プライマー 0.15 kg/m <sup>2</sup>
	不陸調整工	m <sup>2</sup>	109.9	109.9	219.8	不陸調整材 1.0 kg/m <sup>2</sup>
繊維シート工	525g/m2目付	m <sup>2</sup>	160.7	162.1	322.8	含浸・接着樹脂 1.0 kg/m <sup>2</sup>
シート間 不陸修正工		m <sup>2</sup>	6.2	5.5	11.7	厚さ 2mm程度
表面仕上げ工	ポリマーセメントモルタル	m <sup>2</sup>	101.7	101.8	203.5	厚さ 10mm

注記

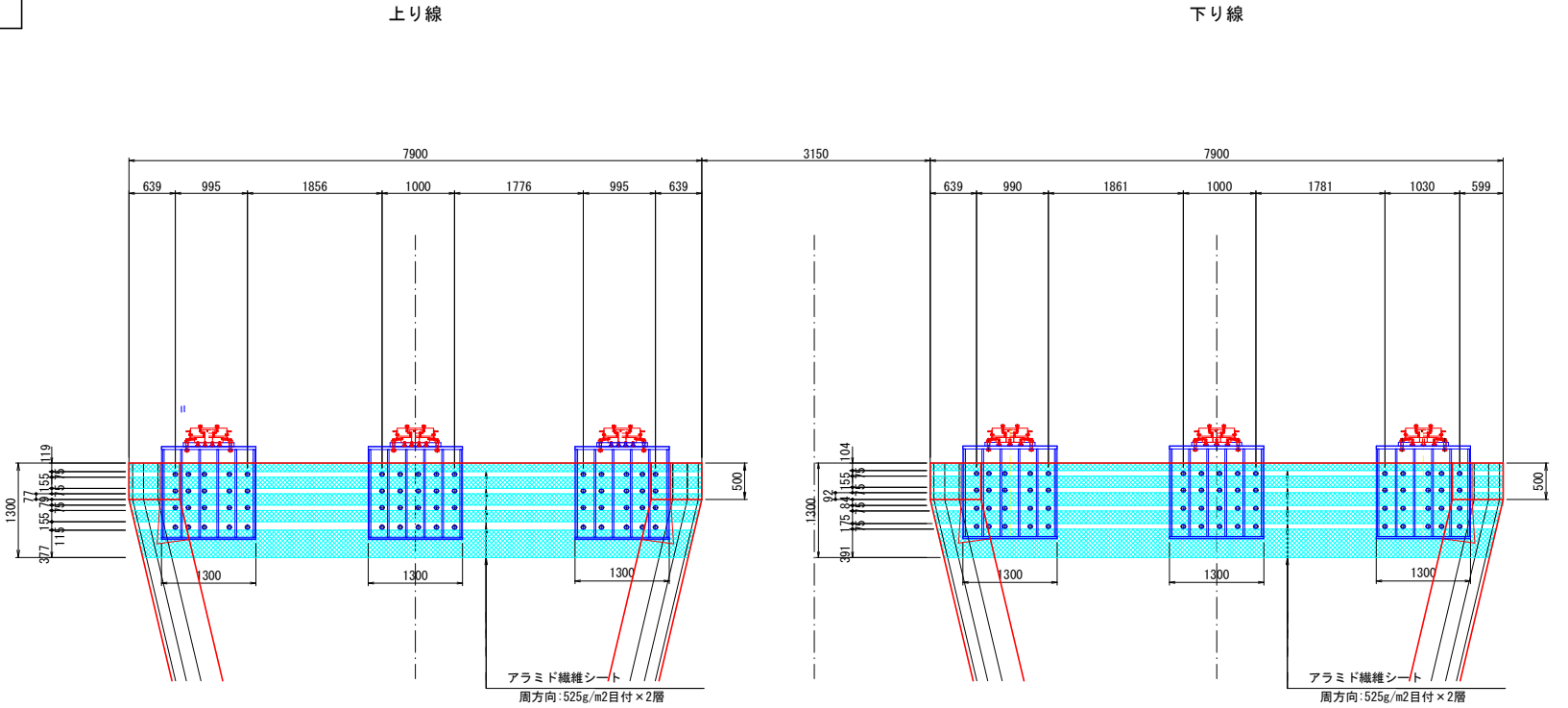
- 現場原寸確認の上、詳細決定の事。
- 不陸修正材 (エポキシパテ) の使用量は、下地状況確認後決定する。
- ひび割れ幅0.20mm以上のものについては、ひび割れ注入を行う。事前調査の上決定する事。
- エポキシ樹脂は、施工雰囲気温度5℃以下・雨天等湿度85%以上の場合は、施工してはならない。施工時には、水分を嫌うので十分注意する。
- ブラケット部は表面仕上を行わない。
- シート間の隙間は、不陸修正材で平滑にすること。

令和 8 年度 橋梁補修 工事	
工事番号	緑ノテ 第 482-3 号
路線名	荒川青森停車場線
施工箇所	青森県青森市旭町二丁目 地内
P8橋脚繊維シート補強図(その2)	縮尺 S=1:50
図面番号	11 葉中 10
青森県東青森土整備事務所	
青 森 県	

P8橋脚繊維シート補強図(その2) S=1:50

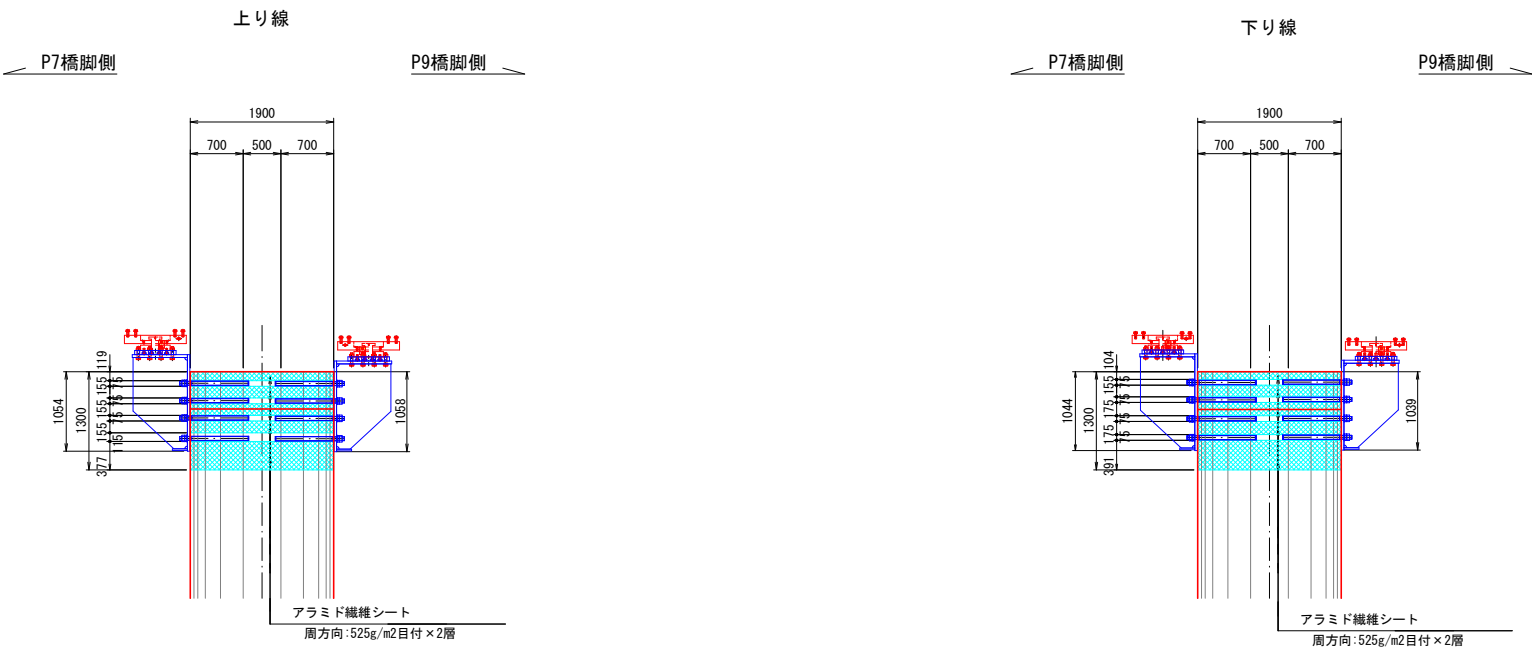
ブラケット部貼付詳細図

正面図



側面図

n=3組



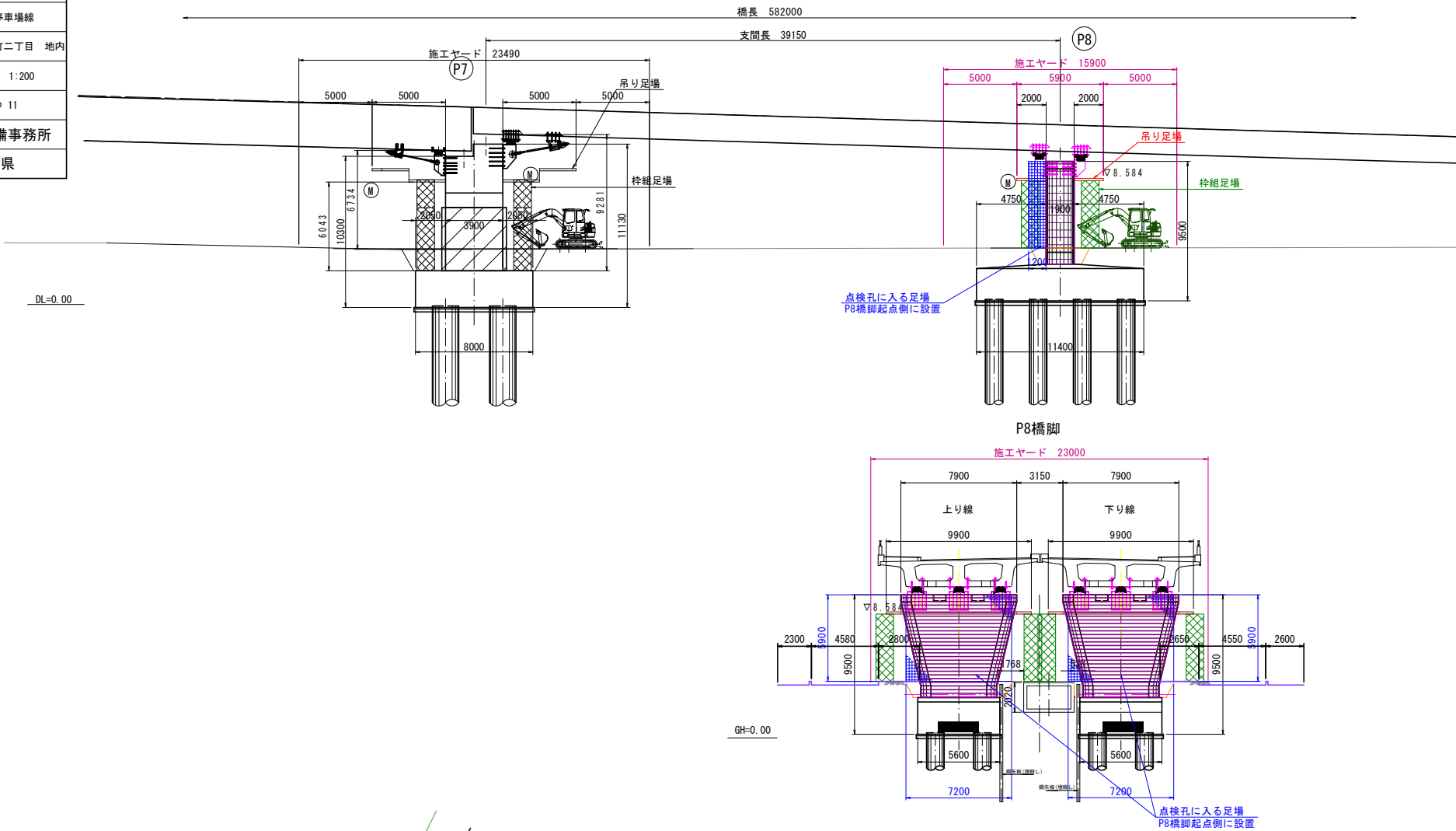
注記

1. 現場原寸確認の上、詳細決定の事。
2. 不陸修正材（エポキシパテ）の使用量は、下地状況確認後決定する。
3. ひび割れ幅0.20mm以上のものについては、ひび割れ注入を行う。事前調査の上決定する事。
4. エポキシ樹脂は、施工雰囲気温度5℃以下・雨天等湿度85%以上の場合は、施工してはならない。施工時には、水分を嫌うので十分注意する。
5. ブラケット部は表面仕上を行わない。
6. シート間の隙間は、不陸修正材で平滑にすること。



令和 8 年度 橋梁補修 工事	
工事番号	繰り 第 482-3 号
路線名	荒川青森停車場線
施工箇所	青森県青森市旭町二丁目 地内
青森中央橋	縮尺 1:200
施工計画図 (6)	
図面番号	11 葉中 11
青森県東青森土木整備事務所	
青 森 県	

施工計画図 (6)



施工計画フロー

P8橋脚



凡 例	
	RC巻立て補強
	繊維巻立て補強
	枠組み足場
	吊り足場
	床堀
	施工ヤード
	箱桁内への昇降足場
	水道
	下水道
	電力(高圧ケーブル)
	ガス

施工フローは基本的な施工順序を示す。  
施工内容に応じて、変更の生じる場合には、  
確認の上、適宜行うものとする。